

環境マネジメントシステム導入報告書

| | |
|--|--|
| (宛先) 京都市長 | 平成 24年8月1日 |
| 報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 〒615-0035 京都府京都市右京区西院追分町25-1 | 報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） イオンモール株式会社 取締役社長 岡崎 双一 |
| | 電話 075-326-0630 |

| | |
|--|---|
| 京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。 | |
| 環境マネジメントシステムの名称 | イオンモール(株) ISO14001 |
| 適用範囲 | イオンモール京都五条 |
| 導入年月日 | 2001年 4月 18日（登録日） |
| 認証番号 | EC01J0013 |
| 基本方針 | イオンモールは、資源エネルギーを有効に活用し、サービスの質を高めながらも、環境への営業を最小にするモールづくりを通じて、持続可能な社会の実現をめざします。あわせて、多くのお客様とのコミュニケーションと地域貢献の履行に努めて参ります。 「イオンモール株式会社環境方針」より |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。） | 2012年度まで（中期環境計画）当社は地球温暖化防止のため、CO2排出量を2012年度までに2006年度比、原単位で40%削減し、総量で5%削減します。（対象：当社管理の後方・共用部分） |
| 目標を達成するための取組の内容 | (1) CO2削減可能なショッピングモールへの転換を図ります。 (2) CO2削減可能な運転管理に改善します。（設備管理意識の改革） (3) CO2削減のためお客さまをはじめとするパートナーさまへの情報を発信いたします。 |
| 目標を達成するための取組の進捗状況 | ①CO2削減対応型のエコモールを開設します。 ②CO2削減可能なエネルギーへの転換を推進します。 ③CO2削減可能な省エネ設備の導入を推進します。 ④効率的な設備管理による省エネの効率向上をめざします。 ⑤環境情報を継続的に提供します。 ⑥テナント従業員への環境意識向上のための教育を実施。 例：マイバッグ持参運動・マイ箸運動・路線バス利用等 |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価 | 当初の計画通り取り組む事ができている。 |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況 | これまでに違反及び行政当局からの指摘はなかった。 |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容 | 評価及び内容の見直しとしては、原則1回、環境内部監査基準に基づき、内部監査を行っている。監査リーダーを主体としたチェックリストによる監査を行う。是正がある場合は監査リーダーによる是正処理終了まで監査を行っている。 |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。